

豪雨災害に関する意識についてのアンケート結果

県では、“どのような洪水にあっても人命が失われることを避ける”ことや“生活再建が困難となる被害を避ける”ことを目的に、流域治水対策として河川整備や維持管理などの「ながす」対策をはじめ、水害に「そなえる」対策、被害を最小限に「とどめる」対策を県民の皆さんと協働で取り組んでいます。

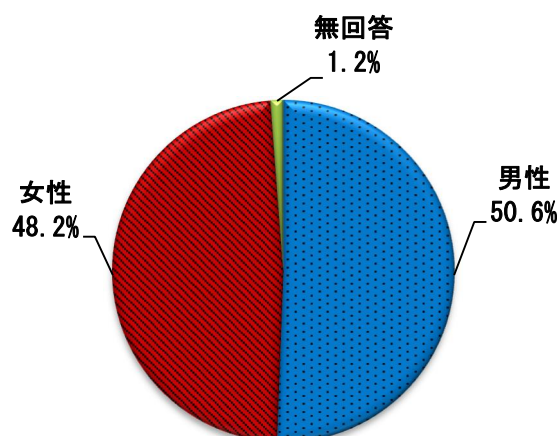
県民のみなさんの豪雨災害に関する認知度を把握し、今後の施策検討の参考とさせていただくため、アンケート調査を実施しました。

- ★ 調査時期：令和7年11月
- ★ 対象者：県政モニター 300人
- ★ 回答数：249人（回答率83.0%）
- ★ 担当課：土木交通部 流域政策局 流域治水政策室

（※四捨五入により割合の合計が100%にならない場合があります。）

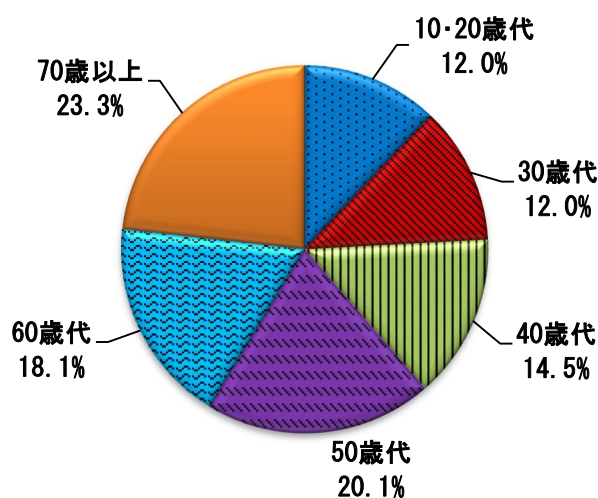
◆性別

項目	人数(人)	割合(%)
男性	126	50.6
女性	120	48.2
無回答	3	1.2
合計	249	100.0



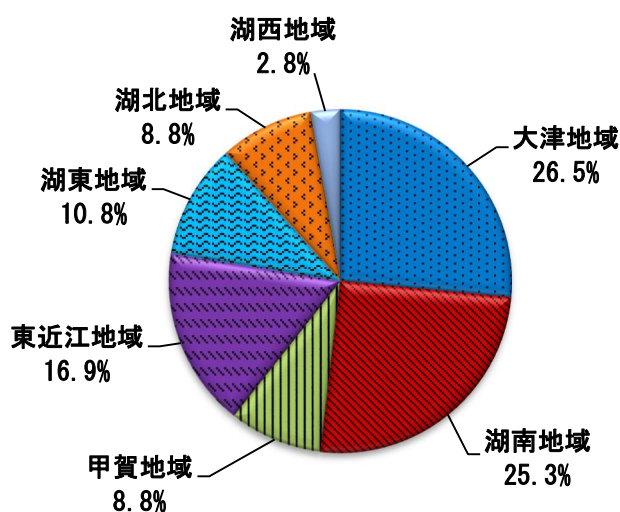
◆年代

項目	人数(人)	割合(%)
10・20歳代	30	12.0
30歳代	30	12.0
40歳代	36	14.5
50歳代	50	20.1
60歳代	45	18.1
70歳以上	58	23.3
合計	249	100.0



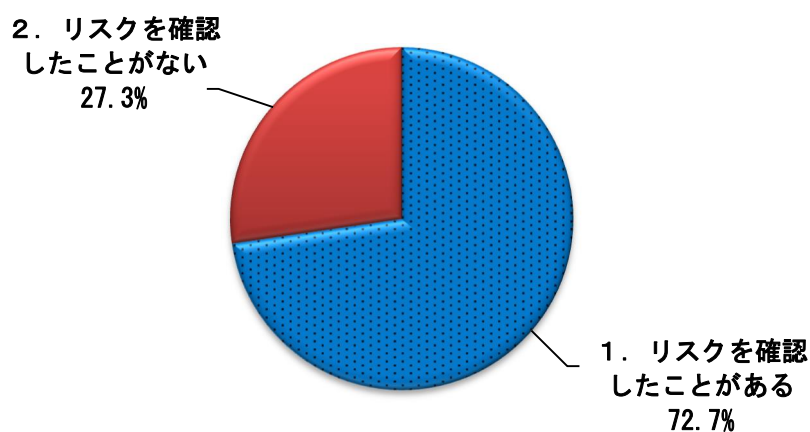
◆地域

項目	人数(人)	割合(%)
大津地域	66	26.5
湖南地域	63	25.3
甲賀地域	22	8.8
東近江地域	42	16.9
湖東地域	27	10.8
湖北地域	22	8.8
湖西地域	7	2.8
合計	249	100.0



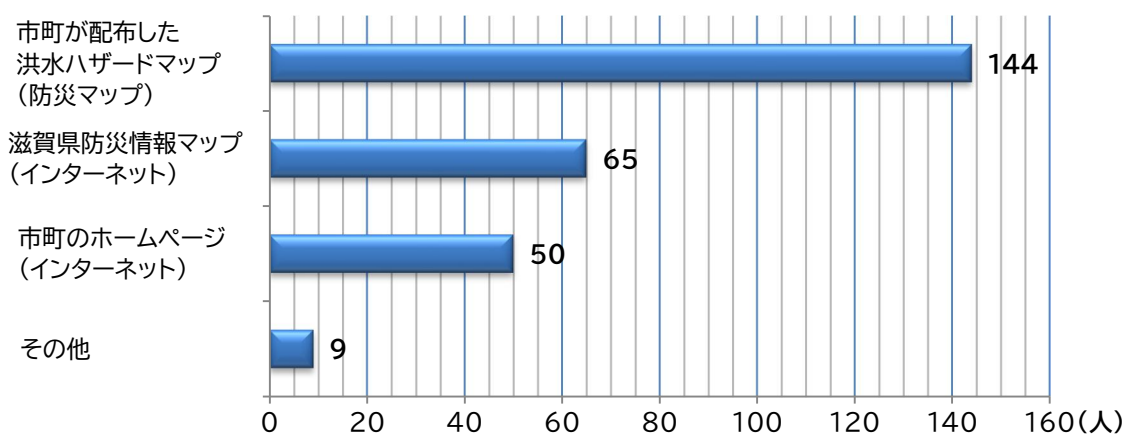
問1 近年、全国各地で水害や土砂災害が毎年発生しており、報道等により事前にリスクを確認するよう広報されていますが、あなたは自宅のリスクを確認したことがありますか。(n=249)

項目	人数(人)	割合(%)
1. リスクを確認したことがある	181	72.7
2. リスクを確認したことがない	68	27.3
合計	249	100.0



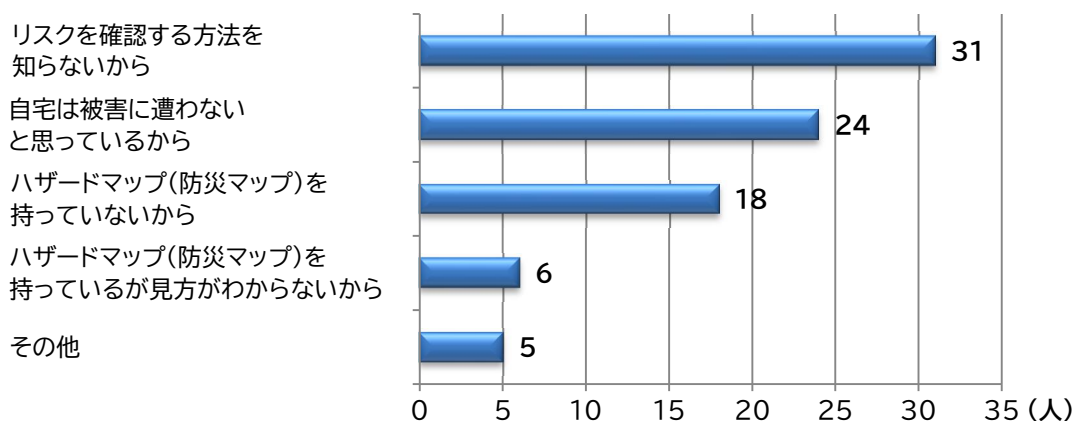
問2 問1で「1. リスクを確認したことがある」と回答された方にお聞きします。それはどのような方法で確認しましたか。(回答チェックはいくつでも n=181)

項目	人数(人)	割合(%)
市町が配布した洪水ハザードマップ(防災マップ)	144	79.6
滋賀県防災情報マップ(インターネット)	65	35.9
市町のホームページ(インターネット)	50	27.6
その他	9	5.0



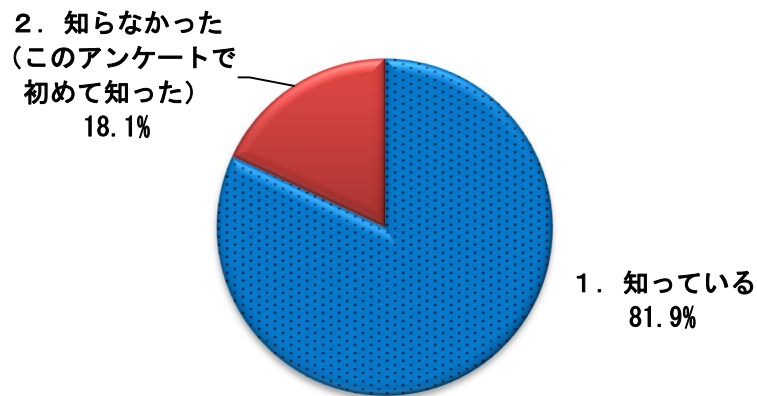
問3 問1で「2. リスクを確認したことがない」と回答された方にお聞きします。自宅のリスクを確認しない理由は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=68)

項目	人数(人)	割合(%)
リスクを確認する方法を知らないから	31	45.6
自宅は被害に遭わないと思っているから	24	35.3
ハザードマップ(防災マップ)を持っていないから	18	26.5
ハザードマップ(防災マップ)を持っているが見方がわからないから	6	8.8
その他	5	7.4



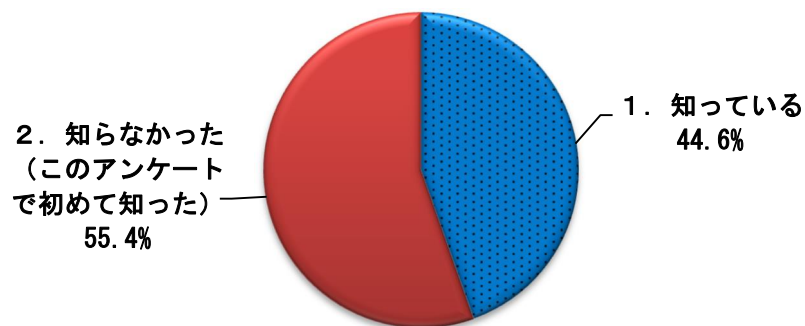
問4 浸水する原因として、大きな河川の氾濫による浸水(外水氾濫)以外に、用排水路や小さな河川の氾濫により浸水(内水氾濫)する場合がありますか。 (n=249)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	204	81.9
2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)	45	18.1
合計	249	100.0



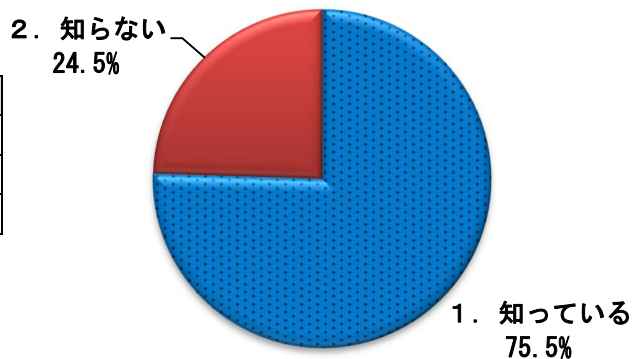
問5 滋賀県では、大きな河川の氾濫だけではなく、身近な水路や小河川の氾濫も含めた「地先の安全度マップ」という水害リスク図を公表しています。あなたは、「地先の安全度マップ」を知っていますか。(n=249)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	111	44.6
2. 知らなかった(このアンケートで初めて知った)	138	55.4
合計	249	100.0



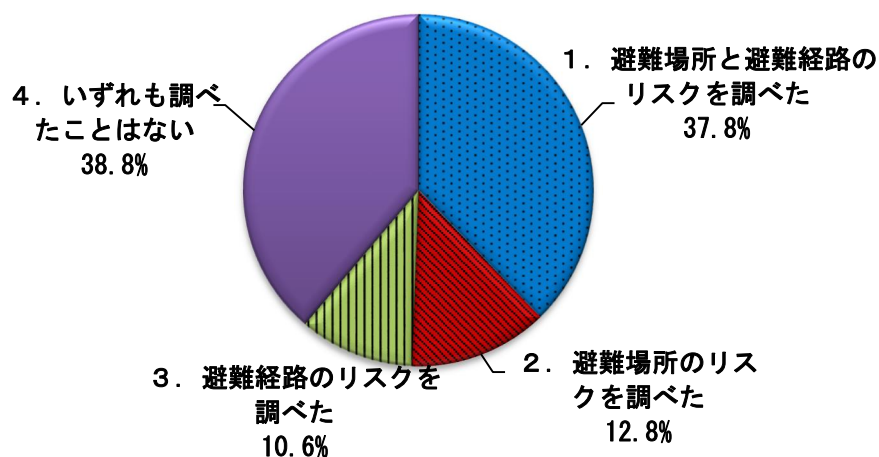
問6 あなたは、豪雨災害が発生した場合に市町が指定する避難場所を知っていますか。
(n=249)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 知っている	188	75.5
2. 知らない	61	24.5
合計	249	100.0



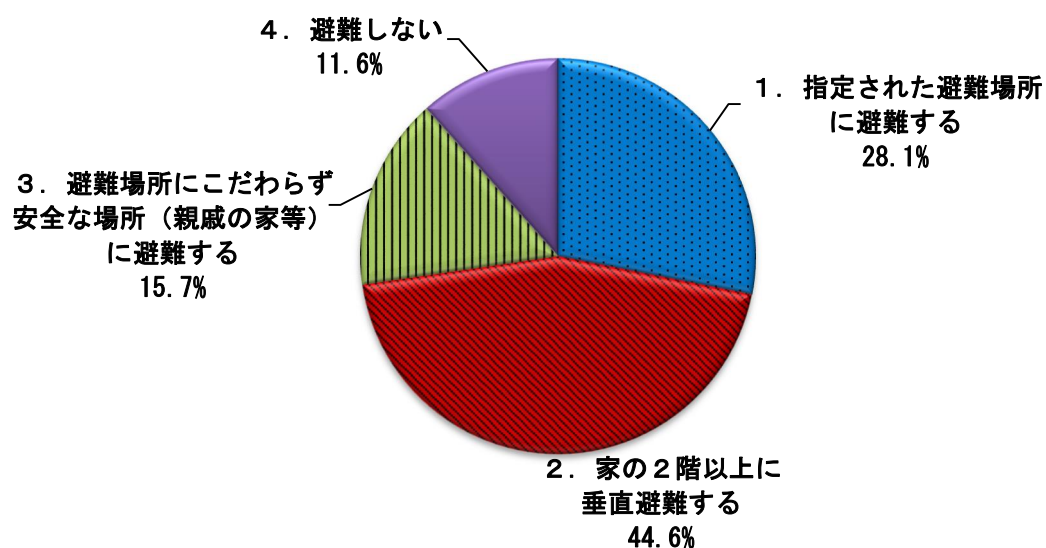
問7 問6で「1. 知っている」と回答された方にお聞きします。避難場所や避難場所へ行く経路のリスクを調べたことがありますか。(n=188)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 避難場所と避難経路のリスクを調べた	71	37.8
2. 避難場所のリスクを調べた	24	12.8
3. 避難経路のリスクを調べた	20	10.6
4. いずれも調べたことはない	73	38.8
合計	188	100.0



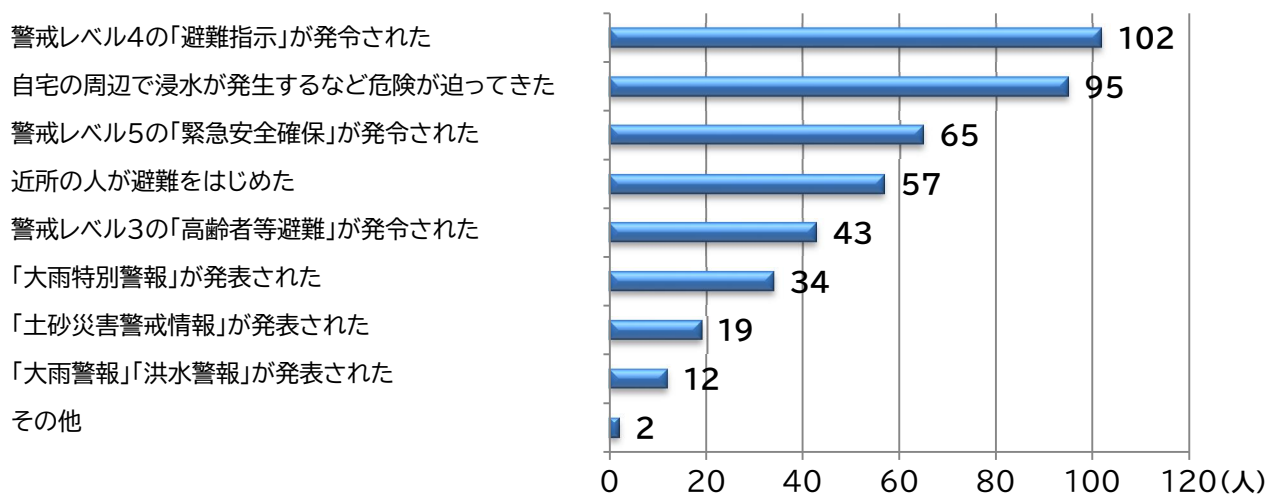
問8 自宅にいる時に、周りで水害や土砂災害の危険性が高くなってきた場合、あなたはどのような行動をとると思いますか。この中からあなたの考えに最も近いものを選択してください。※垂直避難・・・自宅や近隣の建物の2階以上(垂直方向)へ避難すること(回答チェックは1つだけ n=249)

項目	人数(人)	割合(%)
1. 指定された避難場所に避難する	70	28.1
2. 自宅の2階以上に垂直避難する	111	44.6
3. 避難場所にこだわらず安全な場所(親戚の家等)に避難する	39	15.7
4. 避難しない	29	11.6
合計	249	100.0



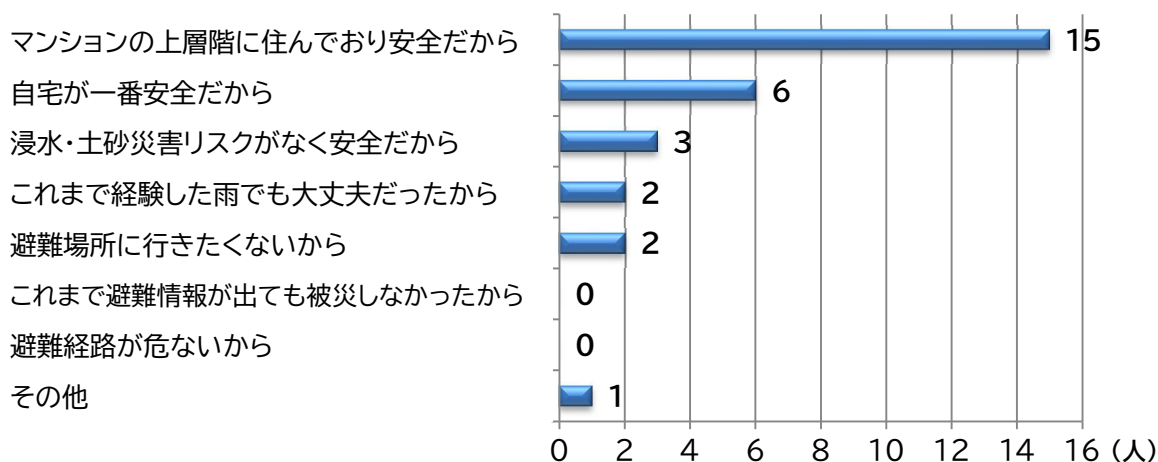
問 9 問8で「1.指定された避難場所に避難する」「2.自宅の2階以上に垂直避難する」「3.避難場所にこだわらず安全な場所(親戚の家等)に避難する」と回答された方にお聞きします。避難を開始するタイミングについて、あなたの考えに近いものを選択してください。(回答チェックはいくつでも n=220)

項目	人数(人)	割合(%)
警戒レベル4の「避難指示」が発令された	102	46.4
自宅の周辺で浸水が発生するなど危険が迫ってきた	95	43.2
警戒レベル5の「緊急安全確保」が発令された	65	29.5
近所の人が避難をはじめた	57	25.9
警戒レベル3の「高齢者等避難」が発令された	43	19.5
「大雨特別警報」が発表された (警戒レベル5相当情報)	34	15.5
「土砂災害警戒情報」が発表された (警戒レベル4相当情報)	19	8.6
「大雨警報」「洪水警報」が発表された (警戒レベル3相当情報)	12	5.5
その他	2	0.9



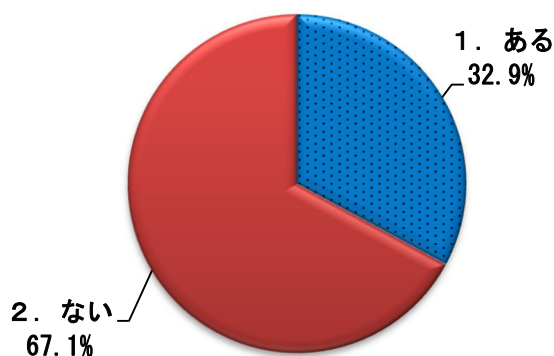
問 10 問8で「4. 避難しない」と回答された方にお聞きします。避難しない理由は何ですか。お考えに最も近いものを選択してください。(回答チェックは1つだけ n=29)

項 目	人数(人)	割合(%)
マンションの上層階に住んでおり安全だから	15	51.7
自宅が一番安全だから	6	20.7
浸水・土砂災害リスクがなく安全だから	3	10.3
これまで経験した雨でも大丈夫だったから	2	6.9
避難場所に行きたくないから	2	6.9
これまで避難情報が出ても被災しなかったから	0	0
避難経路が危ないから	0	0
その他	1	3.4



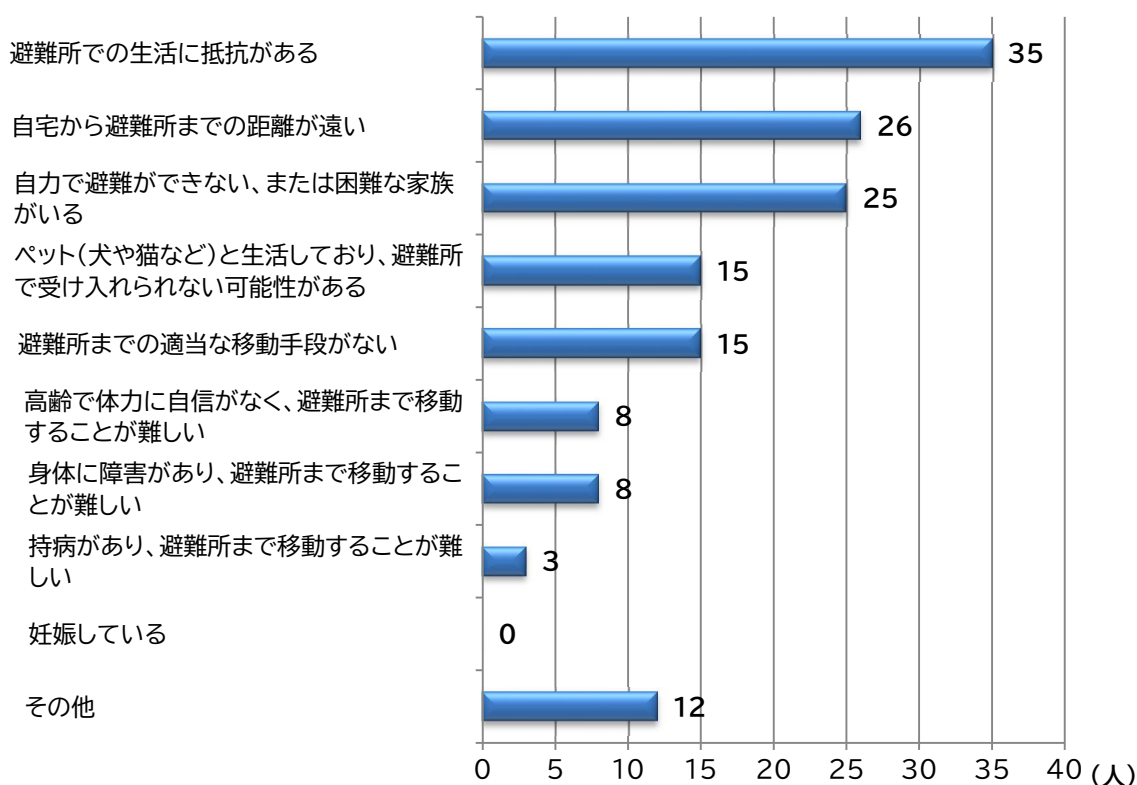
問 11 自宅以外の場所への水平避難に当たり、支障となる事情はありますか。※水平避難・・・自宅から指定避難所や親戚宅等(水平方向)に移動して避難すること (n=249)

項 目	人数(人)	割合(%)
1. ある	82	32.9
2. ない	167	67.1
合 計	249	100.0



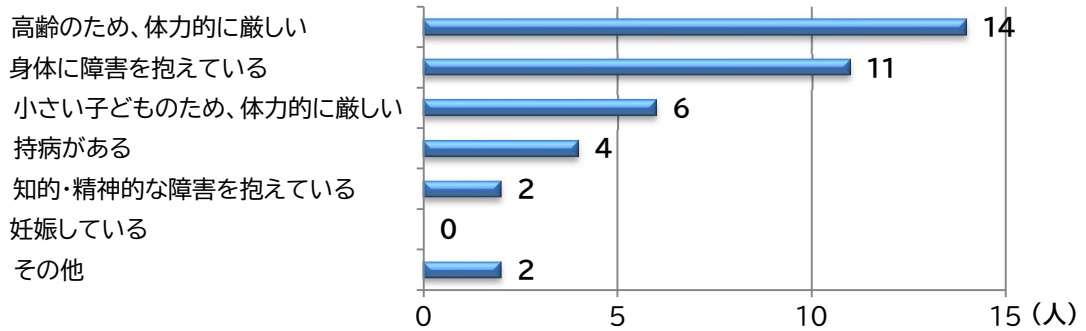
問 12 問 11 で「1. ある」と回答された方にお聞きします。あなたにとって避難の支障となる事情は何ですか。(回答チェックはいくつでも n=82)

項目	人数(人)	割合(%)
避難所での生活に抵抗がある	35	42.7
自宅から避難所までの距離が遠い	26	31.7
自力で避難ができない、または困難な家族がいる	25	30.5
ペット(犬や猫など)と生活しており、避難所で受け入れられない可能性がある	15	18.3
避難所までの適当な移動手段がない	15	18.3
高齢で体力に自信がなく、避難所まで移動することが難しい	8	9.8
身体に障害があり、避難所まで移動することが難しい	8	9.8
持病があり、避難所まで移動することが難しい	3	3.7
妊娠している	0	0
その他	12	14.6



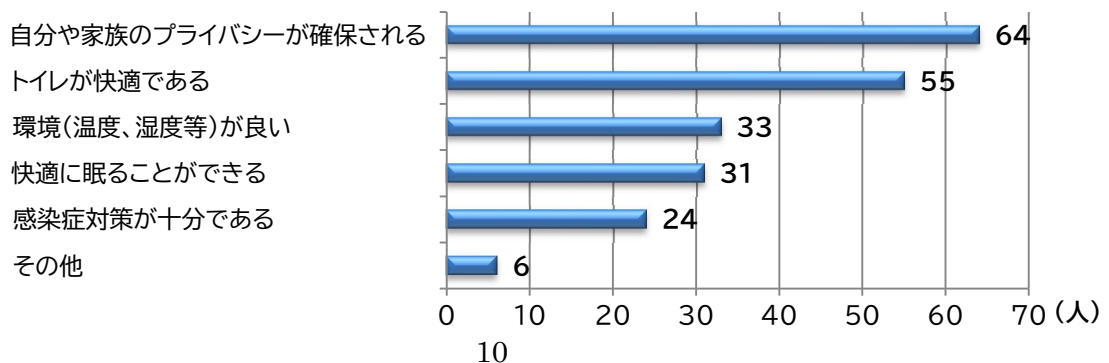
問 13 問 12 で「自力で避難ができない、または困難な家族がいる」と回答された方にお聞きします。その方はどのような事情を抱えておられますか。(回答チェックはいくつでも n=25)

項目	人数(人)	割合(%)
高齢のため、体力的に厳しい	14	56.0
身体に障害を抱えている	11	44.0
小さい子どものため、体力的に厳しい	6	24.0
持病がある	4	16.0
知的・精神的な障害を抱えている	2	8.0
妊娠している	0	0
その他	2	8.0



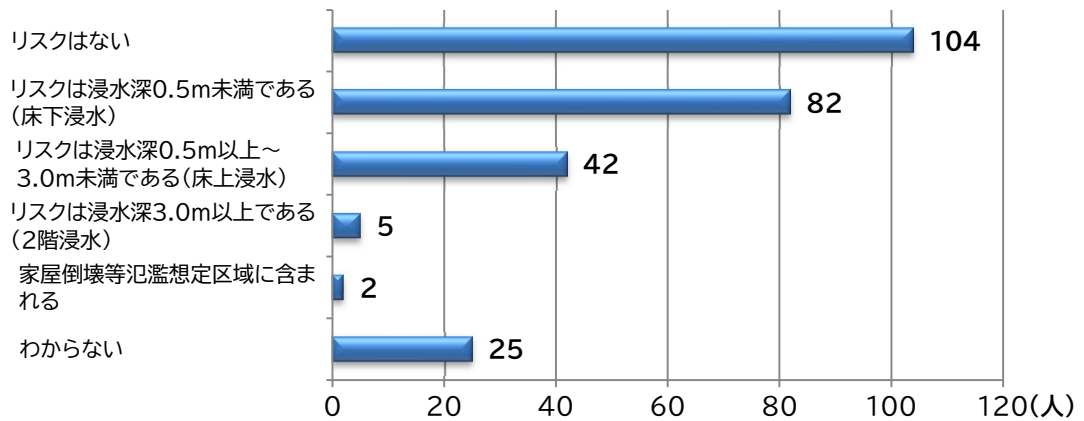
問 14 問 11 で「1. ある」と回答された方にお聞きします。避難所にどのようなことを求めますか。(回答チェックは3つまで n=82)

項目	人数(人)	割合(%)
自分や家族のプライバシーが確保される	64	78.0
トイレが快適である	55	67.1
環境(温度、湿度等)が良い	33	40.2
快適に眠ることができる	31	37.8
感染症対策が十分である	24	29.3
その他	6	7.3



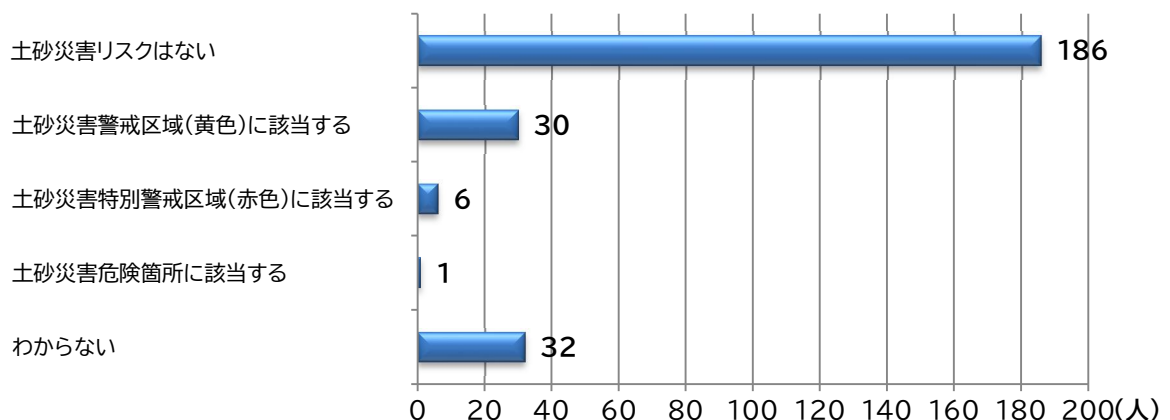
問 15 「滋賀県防災情報マップ」で、自宅の水害リスクをお調べいただき、ご回答をお願いします。自宅の水害リスク(洪水浸水(想定最大規模)や「地先の安全度マップ」で最大浸水深図 1/200 年確率時)はどれに該当しますか。(回答チェックは2つまで n=249)

項目	人数(人)	割合(%)
リスクはない	104	41.8
リスクは浸水深 0.5m未満である(床下浸水)	82	32.9
リスクは浸水深 0.5m以上～3.0m未満である(床上浸水)	42	16.9
リスクは浸水深 3.0m以上である(2階浸水)	5	2.0
家屋倒壊等氾濫想定区域に含まれる	2	0.8
わからない	25	10.0



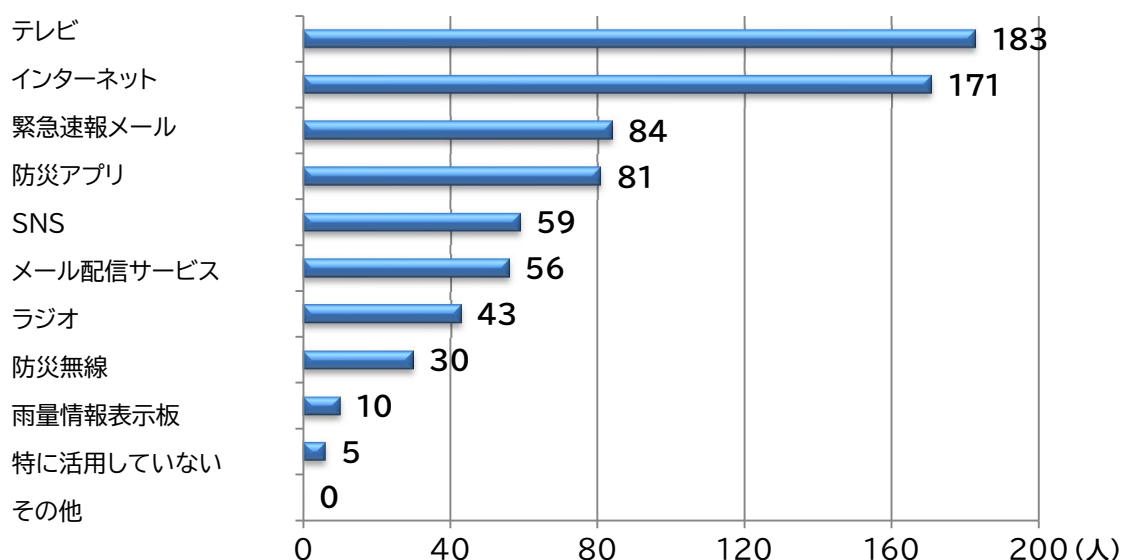
問 16 「滋賀県防災情報マップ」で、自宅の土砂災害リスクをお調べいただき、ご回答をお願いします。自宅の土砂災害リスクはどれに該当しますか。(回答チェックは2つまで n=249)

項目	人数(人)	割合(%)
土砂災害リスクはない	186	74.7
土砂災害警戒区域(黄色)に該当する	30	12.0
土砂災害特別警戒区域(赤色)に該当する	6	2.4
土砂災害危険箇所に該当する	1	0.4
わからない	32	12.9



問 17 豪雨災害時の情報取得手段として、あなたがよく活用しているものを選択してください。(「特に活用していない」を選択した場合を除き、回答チェックはいくつでもn=249)

項目	人数(人)	割合(%)
テレビ	183	73.5
インターネット(ウェブサイトの閲覧)	171	68.7
緊急速報メール (対象エリアの携帯電話に対して情報を知らせるサービス)	84	33.7
防災アプリ (市町やNHK、ヤフー等が提供するアプリ)	81	32.5
SNS(X(旧Twitter)、フェイスブック等)	59	23.7
メール配信サービス (しらがメール、市町のメール配信サービス)	56	22.5
ラジオ	43	17.3
防災無線	30	12.0
道路沿いなどにある雨量情報表示板	10	4.0
特に活用していない	5	2.0
その他	0	0



問 18 洪水から命や財産を守るため、あなたは県や市町の行政に対してどのような取組を望まれますか。重視して進めるべきと考えるものを選択してください。
(回答チェックは3つまで n=249)

項目	人数(人)	割合(%)
河川の水位や雨量などの危険情報の周知	97	39.0
洪水が発生した時の避難場所や避難経路が分かる地図などの情報提供	86	34.5
河川を氾濫しにくくするための整備	79	31.7
避難道路や避難拠点施設などの整備	76	30.5
洪水が発生した時の対処方法を学ぶ定期的な訓練	64	25.7
消防団や自主防災組織等の育成強化	54	21.7
雨水貯留や浸透舗装など、雨水が川に流れ込む量を少なくするための整備	50	20.1
学校等での防災教育	43	17.3
川の中に繁茂した草木や土砂などの撤去	41	16.5
その他	12	4.8

河川の水位や雨量などの危険情報の周知

洪水が発生した時の避難場所や避難経路が分かる地図などの情報提供

河川を氾濫しにくくするための整備

避難道路や避難拠点施設などの整備

洪水が発生した時の対処方法を学ぶ定期的な訓練

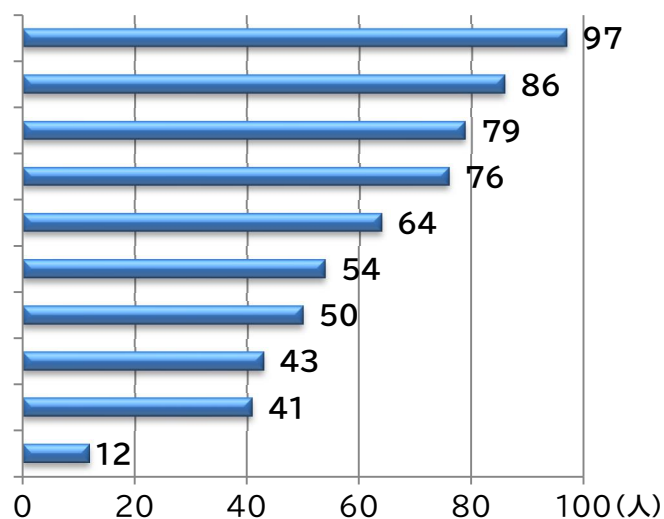
消防団や自主防災組織等の育成強化

雨水貯留や浸透舗装など、雨水が川に流れ込む量を少なくするための整備

学校等での防災教育

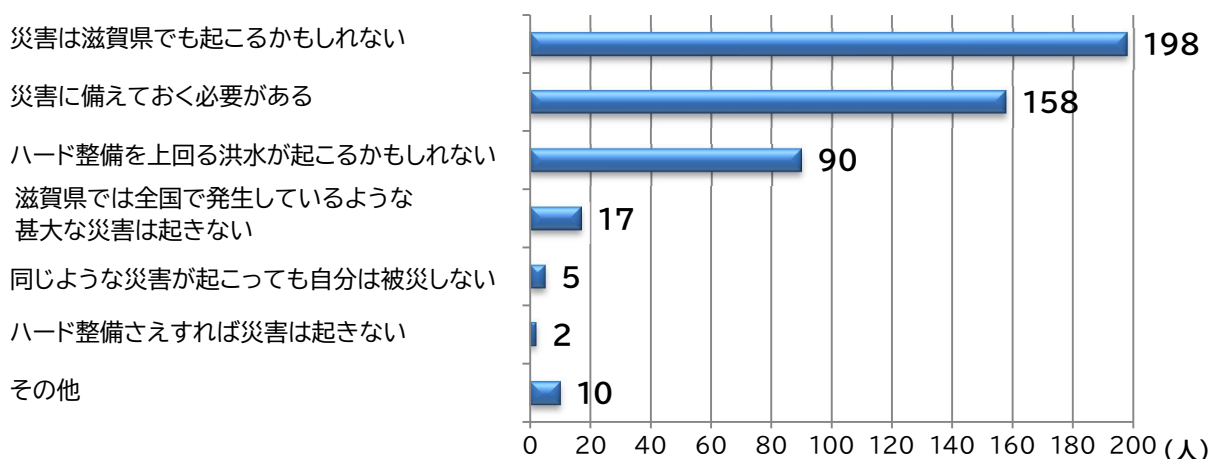
川の中に繁茂した草木や土砂などの撤去

その他



問 19 近年、全国各地で水害や土砂災害が発生しており、甚大な被害が生じています。これらの災害から感じることにあなただけの考えに近いものを選択してください。
(回答チェックはいくつでも n=249)

項目	人数(人)	割合(%)
災害は滋賀県でも起こるかもしれない	198	79.5
災害に備えておく必要がある	158	63.5
ハード整備を上回る洪水が起こるかもしれない	90	36.1
滋賀県では全国で発生しているような甚大な災害は起きない	17	6.8
同じような災害が起こっても自分は被災しない	5	2.0
ハード整備さえすれば災害は起きない	2	0.8
その他	10	4.0



問 20 水害や土砂災害の被害を少なくするため、個人や地域ではどのようなことに留意する必要があると思いますか。ご意見がありましたら記入してください。(抜粋)

【個人で留意すること】

- 家のまわりや避難経路に災害になりそうな箇所がないか見回る。
- 先人の体験を知ることと必ず起こる災害に備えることが必須だ。
- 家の周りを、コンクリートで埋めてしまわないようにした方が良い。雨が染み込まずに全て低いところへ流れていくからだ。
- 水路等の掃除を定期的に行い、綺麗にしておくことが、水の流れを良くして、豪雨に対して少しの対策になるのではと思う。
- 水害や土砂災害のリスクを日常的に理解して、いざという時に避難行動ができる様にする。
- 普段の雨降りでも、ここは溢れやすいといった視点で見たり、ここに溝があるなど気にしたりしている。
- 避難場所の把握。
- ハザードマップで危険な場所を確認する。
- 非常持ち出し品を準備する。
- 家族内で災害について話し合いをしておく。
- 水害リスクが低い地区に住んでいる場合は、垂直避難する。
- 夜間や豪雨時には早めの避難を心がけ、スマートフォンの防災アプリや自治体の防災情報を活用することも有効。

【地域で留意すること】

- 避難訓練の数を増やす必要があると思う。自分の住む地域では避難訓練の機会がない。マンションごとにその機会を設けるなど、対策が必要だと考える。
- 川や崖や山の付近にできるだけ家を建てない。
- 自助、共助、公助のバランス感覚の育成。
- 2018年7月の西日本豪雨を岡山県で経験した。緊急防災メールが一晩中鳴り続け不安な一晩を経験した。転居間もない頃で土地勘がなく、緊急メールの氾濫場所が自宅とどの程度近い場所なのか、危険性はあるのかなどが分からず不安だった。自分が居住する地域、近隣の防災情報をしっかり頭に入れておくことが何より重要であると痛感した。滋賀に転居の際は防災情報をしっかり把握した。現在の居住地のリスクを知っておくことで、冷静な避難判断ができると思う。長年住んでいる方や年配の方こそ、現在の居住地のリスクを認識すべきだと思う。自治会や地域ごとにそういった啓発や情報を得る機会があれば、災害時の避難等スムーズに対応でき、被害を最小限に

できるのではないかと思う。

- 地域住民同士、家族構成や家族の状況を把握したり、声掛けし合える人間関係を築いたりしておく。
- 自治会を始めとした地域の連帯をもっと高める必要があると思う。
- 定期的に避難訓練を行うことが必要だと思う。季節や時間帯によって避難に必要な物や経路も異なるだろうから、さまざまなパターンで行うのも大事。
- 高齢者や子どもなどの避難支援体制をつくる。
- 自主防災組織で危険箇所を点検する。
- 森林や河川を守り、環境を整える。
- 避難している人数と居場所を各自治会長やリーダーに連絡を入れる。

【その他】

- 災害が起こった場合の避難場所について、個人のプライバシーを守るような状況にする、テントや衝立てなど。暑さや寒さを凌げるようにする。雑魚寝しなくてもいいように段ボールベットなどを設置してほしい。
- 避難所環境には、女性や子どもが安心して過ごせるための対策が必要だと強く感じる。具体的には、男女別の生活スペースの確保、更衣・授乳・トイレ・シャワーの分離、鍵付き設備の導入、夜間の見回り体制など、プライバシーと安全を守る環境づくりを求める。
- そもそも災害リスクの大きい場所を宅地開発しない、させない。
- 災害の起きる要素の強い条件を把握する為の研究や環境調査を実施して、河川沿いの水環境調査や環境が備えている保水量や能力を高めるなど問題解決を目指す指針の作成が望まれる。
- 水害や土砂災害はテレビでみるが、実際になったらどうしていいかわからなくなる。町内会で訓練や実際の時の災害に備えたらいいものなど、県からパンフレットなど話をしてもらいたい。